

『愛知用水体験事業』

水土里ネット愛知用水

平成30年8月8日（水）知多市主催の愛知用水体験事業にて、愛知用水のお話をさせて頂きました。

今年は八幡小学校と新知小学校の児童と保護者の方合わせて14名が参加し、牧尾ダムにて操作室の見学や、顕微鏡を使って微生物の観察などを行いました。

私達は道中のバスにて、愛知用水の歴史や、どうやって知多半島へ水が来るかなどを説明し、水源である牧尾ダムや愛知用水の役割について伝えました。

児童たちは学校の近くの田んぼや畑で使っている水が遠い御嶽山の麓から流れてきていることに驚いた様子でした。理解を深めてもらうために行ったクイズにも活発に答えてくれて、アンケートの回答においても愛知用水の生い立ちや牧尾ダムについてわかってもらえた様でした。

牧尾ダムでは普段見る事のできないダムの操作室や水門を興味深そうに見学していました。午後に行われた木工教室では、丸太を切ってメダルやコースターを作りました。児童達と一緒に保護者の方々も楽しそうに参加していました。

実際に牧尾ダムを訪れて、昔の人たちの苦勞や水の大切が伝わったかと思います。今回の体験事業が、夏休みの思い出の一つになれば嬉しく思います。



愛知用水の説明



操作室の見学



木工教室の様子



記念撮影